

## ■エダマメ 肥料は控えめに

園芸研究家●成松次郎

大豆を未熟のうちに収穫するのがエダマメ。タンパク質、ビタミン A、C を多く含み、ビールのおつまみとして夏の栄養補給に最適です。

### 【品種】

一般には早生品種を使い、「おつな姫」(サカタのタネ)、「サッポロミドリ」(雪印種苗)などがあります。風味の良い茶豆では「湯あがり娘」(カネコ種苗)など、黒豆も人気で「濃姫」(タキイ種苗)などがあります。

### 【畑の準備】

種まき 2 週間前に 1 平方m 当たり苦土石灰 100g を散布し、よく耕しておきます。1 週間前に化成肥料 (NPK 各成分で 10%) 100g と堆肥 1~2kg を施し、よく混ぜ込んでおきます。その後、畝幅 70~80cm、高さ 5cm 程度の栽培床(ベッド)を作り、黒色のマルチを張ります(図 1)。

### 【種まき】

地温が 15 度以上になった頃から種まきの適期で、一般地では遅霜の恐れがなくなる 4 月下旬~5 月となり、6 月以降では害虫の被害を受けやすくなります。条間 45cm 2 条、株間 30cm、1 カ所に 3~4 粒まきます(図 2)。鳥害を防ぎ発芽を良くするために、不織布のベタ掛けが有効です。本葉 2 枚の頃、生育の劣る株をはさみで根元から切り取り、2 本立ちにします。

気温が低い時期や鳥害を避けるためには育苗する方法もあります。この場合、直径 7.5~9cm のポットに 3~4 粒まき、初生葉がそろそろ頃に間引いて 2 本残し、本葉 2 枚頃まで育苗します(図 3)。

図1 ベッド作り

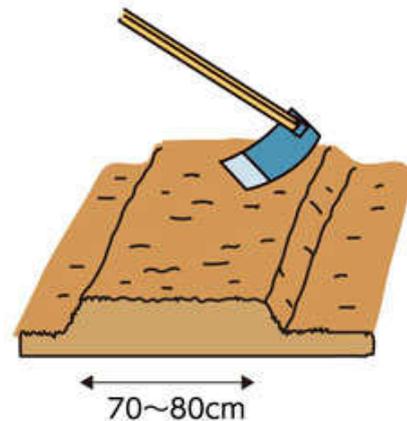


図2 種まき 黒マルチ

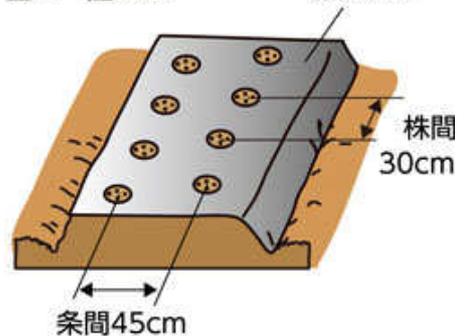


図3 ポット育苗



### **【病害虫防除】**

高温期にはカメムシ類が発生し、さやに付くと落下します。開花期にスミチオン乳剤、トレボン乳剤などの登録農薬で防除します。

### **【収穫】**

さやが膨らんで、指で押さえるとはじけるようになれば収穫期で、開花後から 30～35 日です。株ごと引き抜いて収穫します。収穫適期は 3～5 日と短いため、同じ品種なら時期をずらして 2～3 回に分けて種まきすると、長く収穫を楽しめます。

※ 関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。